

# 令和3年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和2年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	アジア諸国との交流事業			事業番号	008-026
担当部署名	文化観光	局	国際	部	アセアン交流推進室
					課

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(4) 文化芸術の振興・国際交流の強化
		有	取組の方向性	③姉妹・友好都市やアセアン諸国などの国際交流の強化			
	寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(の)パートナーシップで目標を達成しよう	ターゲット	17.14 ,17.16	
		有	取組	パートナーシップ強化に向けた姉妹友好都市、アセアン地域などとの連携促進			
	寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	堺市国際化方針					
3	事業開始年度	平成 20 年度	終了(予定)年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)						

#### 事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	堺市及び堺・アセアンウィーク実行委員会（事務局：アセアン交流推進室）				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	【堺側】アセアン各国と交流がある、または交流を望む企業・団体・学校等を含む堺市民約1,700名。 【アセアン側】日本語、日本文化を学んでいるなど日本に強い関心を持つ市民。特に将来のナショナルリーダーとなりうる学生約300名。				
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	①多文化共生のまちづくりの推進、②アセアン各国との交流を通して、国際感覚豊かな人材育成を図る、③アセアン各国との経済・文化・観光・教育・環境等各分野での相互交流を促進する、④堺市のPR・プロモーション及び海外人材とのネットワークを形成することにより、アフターコロナにおける、世界の人々が行き交い、来堺者が増加し、にぎわいあふれる国際都市をめざす。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<ul style="list-style-type: none"> <li>●堺市所管事業</li> <li>①ダナン市友好都市交流事業（日本語学生、伝統文化、介護等各分野でのオンライン交流）、②外国公館（在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館）連携事業</li> <li>●堺・アセアンウィーク実行委員会事業</li> <li>①アセアン各国とのオンライン交流（小～大学各世代の年間を通じた交流）、②語学・料理・工芸等の各国文化講座の開催、③アセアン各国の映画上映会の開催、④アセアン諸国の風景、歴史的建造物や文化的催しなどを撮影した写真を公募（コンテスト）し、表彰作品を展示する、⑤関西圏在住の留学生や社会人を講師として市内校に派遣する出前講座を実施。</li> <li>●共通事業</li> <li>①HP及びYouTubeやfacebook等のSNSを通じた情報発信・PR</li> </ul>				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	堺・アセアンウィーク実行委員会				
10	公民連携・協働事業					

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 終了(予定)年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度
11 アセアン諸国との交流事業参加者数	人	目標値	-	-	2,000	5,000
		実績値	-	157		
		達成率	-	-		
当該指標を選定した理由		海外姉妹友好都市やアセアン諸国等との幅広い分野での国際交流推進の指標となるため				
目標値の設定根拠・算出方法		新型コロナウイルスにより、令和3年度から交流手法をオンライン主軸に変更した。 【目標】ダナン市友好都市交流及び堺・アセアンウィーク事業における交流者数				
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
12 アセアン諸国との交流事業開催数 (令和3年度)	回		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	-	-	30	
		実績値	-	-		
達成率	-	-				
当該指標を選定した理由		海外姉妹友好都市やアセアン諸国等との幅広い分野での国際交流推進の指標となるため				
目標値の設定根拠・算出方法		新型コロナウイルスにより、令和3年度から交流手法をオンライン主軸に変更した。 【目標】ダナン市友好都市交流及び堺・アセアンウィークにおける交流事業開催数				

## 令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	アジア諸国との交流事業	事業番号	008-026
-------	-------------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度	
	決算	決算	予算	決算	予算	
13 事業費 (a)	38,553	28,875	39,706	13,297	27,940	
財源内訳	国支出金			1,757		
	府支出金					
	市債					
	その他 (国際交流事業指定寄附金)	40				
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	38,513	28,875	39,706	11,540	27,940	
14 人件費 (b)	34,500	34,100	37,800	37,800	32,800	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	73,053	62,975	77,506	51,097	60,740	

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源	
								R2
16 事業費内訳	会計年度任用職員報酬	R2	7,432	7,432	建物借上料 (枠)	R2	0	0
		R3	13,963	13,963		R3	720	720
	堺・アセアンウィーク開催負担金	R2	3,557	1,800	特別旅費 (枠)	R2	0	0
		R3	5,098	5,098		R3	525	525
	期末手当 (会計年度任用職員)	R2	1,844	1,844	その他使用料及び賃借料 (枠)	R2	0	0
		R3	2,791	2,791		R3	424	424
	自治体職員協力交流事業負担金	R2	0	0	通信運搬費 (枠)	R2	3	3
		R3	1,553	1,553		R3	340	340
	費用弁償 (通勤費)	R2	337	337	その他 (自動車借上料など)	R2	124	124
		R3	904	904		R3	1,622	1,622

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
17 ① アセアン諸国との交流事業参加者数	人		157
② 上記①にかかる年間経費	千円		548
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位		3,490
備考 (算出についての説明等)	令和2年度：オンライン交流参加者数 (アセアン大学と羽衣国際大：32、アセアン大学と堺高校：94)、堺魅力発信レポートコンテスト (アセアン理工系学生等対象)：31		

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18	令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当初予定していた参集型中心の事業手法からオンラインなどを活用した交流手法へと見直しを行った。これにより、事業費を削減しながら、友好都市ダナン市やアセアン諸国との交流のつながりを途切れることなく継続させた。今後も、国際都市・堺の実現に向け、オンラインを主軸とした交流を推進し、参加者数を増やすことで事業の効率性を上げる。
----	---

#### KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	堺・アセアンウィーク及びダナン市友好都市交流事業において、市民とアセアン諸国の大学生らによるオンラインを中心とした草の根交流を推進し、国際交流の強化に寄与した。また、令和3年度におけるオンライン交流が本格実施出来るよう、伝統文化、介護等の新たな分野での準備を進めた。グローバル社会の中で堺市が持続的発展をなすため、国際交流を通年化するとともに、交流対象をこれまでの学生中心から多世代へと拡大し、交流回数及び交流者数を増加させていく。また、交流分野もこれまでの教育分野中心から介護、経済分野など多様化を推進する。
----	---